

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 上村建設工業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・顧客の満足及び利益を確保できるように技術向上を追求する目標を決め従業員一同で社内会議を通して共有し、日々努力している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・会社内で勉強会を通して建設業法等を学び関係法令を尊守し事業活動を行うようしている。																		16
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として法に抵触するような活動は避け、不正、不誠実な行動を行わないよう社員一同周知している。										10								16
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社長をはじめ、現場責任者により従業員へ社会環境に及ぼす影響について教育を行い、取締役(役員)を責任者としている。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・社内研修等において、知的財産の重要性を認識するとともに、その保護に努めている。								8.2 8.3	9									
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報の取り扱いについては、責任者を決めて適切な取り扱いを行っている。																		16
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		工事着工前に近隣住民へ挨拶回りを行い、工事への理解や協力をお願いしている。また、顧客からの要望等を聞き、コミュニケーションに努めている。																	16 17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●										9		11		13.1						16 17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・資格取得などのセミナーや研修会への参加費の金額補助をするなどして指導・育成に取り込んでいる。								8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・従業員の能力や適性に応じた職務の配分や、責任事項を定めている。 ・差別・ハラスメントの禁止を周知し、相談できる環境整備を行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・作業前にK・Y活動を実施して、労災事故防止に取り組んでいる。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用形態に関わらず、公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・時間外労働の縮減や週休二日に向けた体制を作りはじめている。また、ライフワークバランスの確保(現在、介護及び育児の時短勤務等)に努めている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・職務に必要な研修や講習の機会を付与するとともに必要経費の支給等を行っている。			4	5.5				8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・年1回の健康診断費用の負担を行い、社員の心身の健康状態の把握に努めている。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・個々の社員の能力が発揮されるよう、適材適所への配置等に配慮している。			4.4 5.5	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3								16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●					3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		熊本県発注工事にて、情報共有システムを利用し、協議・報告書をやり取りし、円滑な業務効率化に取り組んでいる。			3	4				8	9.1		11	12						
	21	【ブライ特企業】 ・ブライ特企業に認定されている。	●						3	4				8	9		12						

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 上村建設工業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1 人権を尊重する 世界を平和にする 命を守る 命を尊ぶ 命を守る 命を尊ぶ	2 経済を活性化する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する	3 積極的に行動する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する	4 積極的に行動する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する	5 積極的に行動する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する	6 積極的に行動する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する	7 積極的に行動する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する	8 積極的に行動する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する	9 積極的に行動する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する	10 積極的に行動する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する	11 積極的に行動する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する	12 積極的に行動する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する	13 積極的に行動する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する	14 積極的に行動する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する	15 積極的に行動する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する	16 積極的に行動する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する	17 積極的に行動する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する 資源を効率的に利用する
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物処理は専門業者へ委託し、廃棄物の種類ごとにマニフェスト管理をしている。			3.9		6.3						11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を算出しており、オフィスの節電やLED化に取り組んでいる。					7.3							13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、営業車については一部ハイブリッド車を使用することでCO2排出抑制に取り組んでいる。	2.4				7.2 7.3 7.a						12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・現場においては、それぞれの現場に応じた環境配慮対策を講じた施工を心掛けている。(河川工事では汚濁防止フェンスやオイルフェンスを設置し生態系に悪影響がないようにしている。)				6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・裏紙が利用可能な書類はなるべく裏紙を使用することによる資源の有効活用をしている。							9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・現場で発生する汚水や汚泥は適切な処置をして排出している。	2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生紙、再生インク、裏紙の利用を推進している。							9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2			6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・事務所の街灯にはソーラーパネル式ライトを設置して太陽光を利用している。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●						6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●												12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出量実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 上村建設工業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・設計の品質基準に満たしているか内部検査を実施して品質確保を行っている。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者・高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		日頃からUDを意識した行動をするように心掛けている。また、自社で作る掲示物については、字体を大きくしたり、着色したりして見やすくしている。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		・工事に使用する資材のうち、型枠材・丁張材は、県産木材の使用を優先している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7						12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・道路清掃等のボランティア活動に積極的に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災・減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・災害時における緊急連絡網を整備し緊急時に備えている。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災・減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・熊本県と熊本県建設業協会菊池支部にて防災協定を締結し、災害時に迅速に対応している。 ・屋外消火栓の位置確認など地域の防災訓練に参加している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●						4					8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●						4.4					8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。